

# センター月だより

## 2月分の活動状況報告

東濃西部少年センター

### ・地区別指導活動

	多治見	瑞浪	土岐	合計
指導件数	7	2	0	9
声かけ件数	1046	29	145	1220
指導参加者数	72	30	39	141

(指導日誌より)

#### 多治見地区

- ・駅裏口の駐輪可と不可の区別がはっきりしない
- ・タバコの吸い殻、駐輪場の中、テラ周辺に多い
- ・太平公園、太平児童館で遊ぶ子供が増えている
- ・A店で万引きは減っていない。集団化している場合もある
- ・JR 多治見駅や塾に向かう子どもたちへの声かけ、挨拶がお互いに気持ちよくできて、寒い中のパトロールが楽しく感じた
- ・生徒さんの方から挨拶を行ってくれることは良いことである
- ・駅前のB店で子どもたちの様子が悪い。喫煙、飲酒などもしているようである。ゴミも捨てることなく遊んでいる。制服の子は少ないがいるみたいなので、学校に呼びかけてほしいとのこと。16～17時くらいがひどいようだ

#### 瑞浪地区

- ・バロー地下道、タバコの吸い殻約30本確認
- ・夕方ごろ学生がたむろして吸っていると見られる
- ・ゴールデンパーク前地下道、タバコの吸い殻多し
- ・冬場は人がいないので、市街地へ・・・たまには違う地区を廻るのも良い。ただ時間がかかるので大変
- ・バイパス高架下、タバコの吸い殻少々
- ・瑞浪駅前ロータリーにて、女子高校生PM8:00声かけ
- ・トイレ内にて雑誌(週刊朝日)回収

#### 土岐地区

- ・寒いせいか誰も出歩いていなかった
- ・一列に並んで歩いてはいるが、前後で大きな声で話しながら行く
- ・寒いせいか、学生も早足で帰って行く人が多い

**センターから**：通勤で小学校の横を通ります。いつも出会うご婦人。黙々とその道をお掃除しておられます。いつからか、挨拶を交わすようになりました。そのうちに、一言二言ずつ増えるようになりました。きっと、子どもたちもそんな自然と出る挨拶をしているのだと。

### 聞いてくれると話せる

そういうことって、ありますね。「なぜ話してくれなかったのか」と言われることがあります。言われた方からすれば、「なぜ聞いてくれなかったのか」ということになります。

誰かに話すには勇気がいるとき、一言聞いてくれると話せるものです。すなわち、声かけを上手にすると、相手の心を引き出すことができます。

「生き方サプリメント101錠」 第3集より 多治見市教育長 村瀬 登志夫氏